

すいせん



発行者 須崎協議会 文化厚生部
下田市須崎一七九番地
須崎漁民会館内
電話 0558(22)8056

題字: 梅田弥祐先生

区総会・書面決議で開催

3月28日(日) 須崎区の総会は、コロナ禍の3密を避け、前年同様に集会せず書面決議総会とした。

須崎区加入の全世帯数365戸に議案書を配布し、307の回収解答を得ましたので、過半数に達し総会は成立しました。

〈決議事項〉

議案第1号令和2年度事業報告の件
令和2年度決算報告の件
*賛成多数により可決成立。

議案第2号令和3年度事業方針案の件
令和3年度事業予算案の件
*賛成多数により可決成立。

議案第3号令和3年・4年度
須崎区長・監査員選任の件
協議会・組長承認の件
*賛成多数により可決成立。

〈報告事項〉

報告第2号令和3年津島神社祭典の件
国際カシキ釣り大会の件
*賛成多数により可決成立。

R3年・4年度須崎区の各役員

| | |
|-----|--------------|
| 区長 | 土屋 磯雄 (山三) |
| 代理 | 森田 学 (そばや隠居) |
| 会計 | 三堀 綱幸 (三崎屋) |
| 観光部 | 長友 靖尚 (太田屋) |
| 文化部 | 山本 浩史 (八倉) |
| 土木部 | 鈴木 英行 (近江) |
| 土木部 | 森 豊春 (平治) |
| 土木部 | 土屋 信和 (久三郎屋) |
| 土木部 | 田中 千春 (田中屋) |
| 土木部 | 土屋 洋人 (天光) |
| 土木部 | 田中 速史 (傳右衛門) |
| 土木部 | 山本 三千夫 (宇平屋) |
| 土木部 | 岸田 洋憲 (みのりや) |

須崎区総会

須崎区長 土屋 磯雄

令和2年の総会については元年度に引続いて、コロナウィルス感染が収まる先の様子を判断できない状態です。本年度も書面決議と致しました。広く区民の皆様のご理解の深いご意見を伺い区政運営の一助にしたいと思っております。誠に残念ではありますが、前年同様に行いました。前年度区定款には書面決議は謳われていない旨のご意見がありましたが、国の方針で3密を避けるよう指導もあり、定款の変更もしないまま実施致しました。御了解のほど、お願い申し上げます。

区政2年間の事業実績については、区報「すいせん」3月号に報告の通りであります。この2年間、世界的なことはいえ、コロナ禍による夏の海水浴、冬の水仙まつり、特に大型バスによる団体客の激減など、区の収入面では50年前の水仙まつり以来の最悪の状態でありました。

須崎を取り巻く現状を鑑み、政治の面では森田議員も県議会で最長老の重鎮である。しかし高齢であることも確かである。又今期には市会議員立候補者もいなかった。須崎区全体の生活を取り巻く諸般の問題を、行政に繋ぐ人材がいらないことも心配であろう。

財産区議員無投票立当選者

3月22日(月) 下田市役所にて当選証書付与式が行われ、当地区の財産区議員12名が出席し当選証書の授与を受けた。議員任期は4年。新議員は次の各氏。

土屋 磯雄、森田 学、三堀 綱幸、長友 靖尚、太田 一弘、鈴木 英行、森 豊春、芹澤 治男、土屋 信和、田中 千春、土屋 洋人、田中 速史

人件費増加について

令和2年度総会は可決成立致しました。衷心よりお礼申し上げます。決算報告で人件費の意見がありました。

予算10,000,000円に対し2,683,190円増加は令和元年度決算額11,643,265円

令和2年グリーンエリア駐車場人件費960,000円が市から入金あり増加したもので、その分を差引くとほぼ同額となり人件費の増加はありません。予算額を上げておけば良いのです

が予算都合上、前年通りの計上となりました。

グリーンエリア協議会報告

本年度は芝生広場の防護柵の設置ほか、各所に案内表示板の設置など600万円、グリーンエリア駐車場の人件費の計上があります。

消防団で新車の配置

5-3須崎分団に可搬式小型動力ポンプを搭載した新型4人乗りの、軽積載車の配備交付及び車両の引渡しが行われ配置されました。

回洞院(西寺) 手習冊の工事

11組より要望のあった「住民の危険防止と回洞院に墓参りの安全の為」市建設課で工事中です。

6組から要望の側溝は区土木部で完了しました。1組、15組の要望については継続して要望します。

須崎区内目を向けると、区民の皆さんに子ども会、消防団、女性の会、お寺の世話人、組長会、協議会、財産区議員等々...

この他にも役員に選出される。しかし実体は、人材不足で順番で選出されているのが実態である。選任された方は、その組織の中で、最善を尽くし頑張ってもらいたいと思う。また、須崎の生活環境は少子化、高齢化による人口の減少、それに伴う空き家対策と、空き家の火災や災害の対策も考えなくてはならない。かつて加えて都会地や郊外に子孫は、郷里に働く場は少なく須崎には帰省しなく、よそで就職してしまう悪循環が起きている。

市は対策として、ワーケーションや空き家バンクを施行し、地域の人口減少に歯止めをかけようとしている。

コロナ禍で過す日本社会は大きな転換点にいる。明治維新、終戦の時のような変革期であろう。車社会の自動車はエンジン(油)からモーター(電気)へ、仕事社会は出勤しなくてもリモートワークが増え生活自体が見直されている。政府では本年度、小・中学生の98%にインターネットの端末を配備する。

リモートワーク、電気自動車(EV)、人工知能が管理する脱炭素社会、その頃には伊豆縦貫道路も全線開通している。世の中は急激な社会変革が10年をいらずして来るだろう。

そんな時代、過去の経験に基づき先入観を振り払って進まなければ、須崎地区も取り残される地域になるだろう。須崎の歴史に現れる、天正18年水帳(検地水帳)を開闢とするならば先人、先輩達が守り育てた機の出入り、財産区存続、湊の埋立て、急傾斜事業等々区民一人ひとりが須崎の伝統を守り、感謝し矜持を忘れず地域に住むことであろう。

菅総理は、目指す社会は「自助・共助・公助として絆」と云っている。小さなコミュニティの須崎社会でも、須崎人としての「ほこり」を忘れず、「自助」自分でできることは、先ず、自分でやってみる。「共助」家族や地域、ご近所互いに助け合う。「公助」国・県・市がセーフティーネットを手助けしてくれたい。

しかし公助の支援は限定期間であり、目的が達成されれば引き上げてしまいます。災害、火事、崖崩れなど、その後において地区や組の「絆」と「信頼」が最も大切な基本であろうと思えます。

令和3年・4年度の協議会議員全員の御推挙をいただき、区民の皆様のご承認を賜り、浅学非才ではありますが区長職を担わせて頂きます。

何卒、御支援、協力をお願い申し上げます。

須崎の歴史を訪ねて・・・
わが村の記録「建功史」 抜粋の連載を顧みる

これは江戸時代、須崎の磯争いを小澤長兵衛翁が克明に綴った記録である。区民の皆様には1年間に亘る記載をお読みいただきお礼を申し上げます。

わが村の記録「建功史」は小澤家で門外不出の書であるため「長兵衛翁」に毎日通い書いてきたもの「だ」と私の若い時代、田中道知翁から直接伺った。完成した本は第1部は現代文、第2部は古文書であり272頁になる製本である。

印刷は下田印刷である。

昭和48年10月15日非売品として発行された。発行者は須崎協議会で須崎全戸に1冊ずつ配布されたものであります。

各家で大切に保存されていると思われれます。今回「すいせん」に連載されたものは筆者が一存で大切に思われる文章を抜粋したものであります。

磯争いの始まりは、明和6年(1769年)下田側の犬走島に係留していた大型和船が須崎側浦戸取で沈没した。沈没した船の積み荷はその浦(海)の者が取り捌く権利があり、分一と云う幕府の取り決めもあり、村の経済にも大切なものであった。そこで下田町、柿崎村は共同でこの浦(海)は下田柿崎のものとする主張した。

当時越瀬にあった遠見番所は下田大浦に移ったので下田側役職は番所の役人とも親しく、笠に懸かっている主張して来た。

下田柿崎の主張は、大間の赤崎にある伝法治右衛門が磯になった島までであると主張した。下田側は絵図だけの主張であり実測すると間違っていた。柿崎側(外浦も柿崎の内、外浦と云う地名も下番号もない)は筆島は丸々須崎のもので決着がつき、境界は16ヶ所その根元には炭を入れ何年たっても判る様にしようと伝えられている。

その時代砂浜ではアワビ、サザエ、天草、伊勢エビは採れない。今こそ海水浴で賑わうことはあろうがその当時はない。この磯争いで須崎は柿崎の浜の切れた場所から、ぐるっと回って外浦の浜の手前の磯場まで勝訴したのである。海産物の出荷量から考えても、御先祖様達によくぞ頑張り主張してくれた。

感謝しなければならぬ事であらう。

昭和18年の軍部の圧力も跳ね返し須崎の海を守ってきた先人たちの歴史があります。

5年間に葦山、江戸表に16回、村一丸となり分限帳を作り収入に依り全戸より徴収した。その費用は240両436文(現代の約2400万円

であるが、後進国では未だ月給30000円の国もあり)当時としては血の滲む様な莫大な金員であつたらうと思ひます。

名主は金銀一切を手取らず、5文2文の事にも賄い方から賈い小前帳に出入金の都度明瞭に致したと報告している。

これが須崎の良い前例となっている。

時代は下り明治35年(1902年)3月15日には旧須崎小学校が開校した。

設立委員長の土屋傳兵衛も先例にならない、「本工事は、起工より2ヶ年に涉りその間、賦役の工夫を要せしこと1148人、経費を要したること総金7203円80銭2厘(現代にして約2990万円)」と記録に残し報告している。おそらく村民総出の勤勞奉仕や抛出金、土地の寄付もあつた。

昭和26年頃、浜崎中学校は財産区の土地に建築されたものであるが、人々が人足に出たのは知っているが、その経過については区に記録はない。

明和の出入り獲得した磯場も福浦の終末処理場、5港建のケソンヤード、須崎湊の護岸事業、外浦地区の船揚げ場、筆島の境界など後に続く須崎の人々に正確な記録を残しておくことも大切であらうと思ひます。

一年間お世話になりました

浜崎小学校長 菊池 正仁

この一年、新型コロナウイルスに振り回された一年でしたが、子供たちにたくさん我慢を強いらせてしまいました。ご家庭での健康管理や毎日の検温などの協力を得て、何とかこの一年を終えることができました。須崎地区の皆さまにも教育活動へのご支援を、校外学習などでお世話になりました。こうした体験を通して子供たちに豊かな表情がよみがえり、落ち着いた学校生活を取り戻して力を分けていただきました。あらためて感謝申し上げます。

苦しい新型コロナウイルス感染症対策でしたが、その中から学ぶことはたくさんありました。例えば、感染症に対する理解が高まったことです。マスクの着用や手洗い、毎日の検温で自分の健康状態を知ることにより、この一年間新型コロナウイルスはもちろん、インフルエンザも一件もありませんでした。次に、行事等の見直しです。今まで通るといふ考え方が通じなくなり、「どのようしたら、安全にできるのか」「何が必要なのか」「子供たちのどのような力を育てたいのか」など、職員全員で知恵を絞って真剣に考えました。この経験を次年度にも生かしていきたいと思ひます。

本年度の卒業式は、在校生と共に全校で卒業生を祝いたいという思いで進めていきました。学年を越えて仲の良い浜崎小学校の子供たち全員で心の通った卒業式にしたいと考えたからです。前日の式場づくりでは四

五年生が心を込めて丁寧に取り組んでくれました。それは、とても爽やかな光景でした。式の中でも「六年生の姿を、目と心に焼き付け伝統を受け継いでいこう」という話をしました。それに促されて式に臨む卒業生の姿はとも立派でした。会場にいた誰もが心の中に熱いものがこみ上げてくる、そんな素晴らしい卒業式になりました。

今年度は離任式も行いました。お世話になった先生とお別れとなりますが、転任された先生も子供たちや保護者の皆さまに感謝の気持ちを伝えられました。卒業式も離任式もこの学校だからこその心温まる光景でした。

今年度の卒業生は、下田東中学校の最後の入学生になります。小学校で学んだことをさらに伸ばしていつてほしいと願っています。今後、小学校はさらに地区の子どもを育てることを目指します。その準備も着々と進めています。新年度も須崎地区の皆さまにはお力を貸し願うことが多々あるかと思ひます。引き続き、ご支援ご協力をお願いいたします。

あった。そこで下田町、柿崎村は共同でこの浦(海)は下田柿崎のものとする主張した。

当時越瀬にあった遠見番所は下田大浦に移ったので下田側役職は番所の役人とも親しく、笠に懸かっている主張して来た。

下田柿崎の主張は、大間の赤崎にある伝法治右衛門が磯になった島までであると主張した。下田側は絵図だけの主張であり実測すると間違っていた。柿崎側(外浦も柿崎の内、外浦と云う地名も下番号もない)は筆島は丸々須崎のもので決着がつき、境界は16ヶ所その根元には炭を入れ何年たっても判る様にしようと伝えられている。

その時代砂浜ではアワビ、サザエ、天草、伊勢エビは採れない。今こそ海水浴で賑わうことはあろうがその当時はない。この磯争いで須崎は柿崎の浜の切れた場所から、ぐるっと回って外浦の浜の手前の磯場まで勝訴したのである。海産物の出荷量から考えても、御先祖様達によくぞ頑張り主張してくれた。

感謝しなければならぬ事であらう。

昭和18年の軍部の圧力も跳ね返し須崎の海を守ってきた先人たちの歴史があります。

5年間に葦山、江戸表に16回、村一丸となり分限帳を作り収入に依り全戸より徴収した。その費用は240両436文(現代の約2400万円

浜崎小学校 全校遊び
4・5年生が中心になって行いました



卒業式 3/19



離任式 3/30



須崎で見られる野鳥

この写真の表示板を見たことがありませんか？
これはグリンエリア駐車場の入り口にあるもので、爪木崎周辺で見られる野鳥35種類が描かれています。

最近、須崎にもメガソーラー(太陽光発電所)が出来て、森が失われ、環境がどんどん悪化してきているように思ひます。

現在、どんな野鳥が生息しているか、確認しておくことは必要です。

前年度は「須崎で見られる迷惑な植物」を紹介してきました。自分の専門外の事で大変でしたが、幸いスマホやパソコンを使って、インターネットから情報を得ることが出来ました。

今年度は「須崎で見られる野鳥」と題して身近で見られる野鳥の生態やエピソードなど、いろいろ調べて次回から紹介していこうと思ひます。

丑嶋 久雄



いのちニュース
3月の捕獲情報
5日(金) 権右の貸住宅にて
は 鼠 1頭 500pxメス

三月の実施行事

- 3日(水) 区協議会決算監査
- 4日(木) 市県民税申告会(市税務課)
- 5日(金) 回覧日、わらいの輪の会中止
- 6日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 7日(日) 下田市津波避難訓練中止
- 13日(土) 総会議案書の製本、組配布協議会定例会
- 19日(金) 回覧日、浜崎小・東卒業式
- 20日(土) 【春分の日】カイロ健康施術会(憩の家)
- 21日(日) 須崎財産区協議会議員選挙
- 22日(月) 財産区議員当選証書授与式
- 23日(火) Gエリア運営協議会
- 28日(日) 須崎区協議会総会(書面決議)

四月の予定行事

- 2日(金) 回覧日、カイロ健康施術会(憩の家)
- 3日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 5日(月) わらいの輪の会 休み
- 7日(水) 浜崎小・下田東入学式
- 8日(木) 花まつり(観音寺、旭洞院)
- 16日(金) 回覧日、カイロ健康施術会
- 29日(木) 【昭和の日】

五月の予定行事

- 3日(月) 【憲法記念日】
- 4日(火) 【みどりの日】
- 5日(水) 【こどもの日】
- 7日(金) 回覧日、カイロ健康施術会(憩の家)
- 8日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 10日(月) わらいの輪の会 休み
- 22日(土) カイロ健康施術会(憩の家)
- 29日(土) 下田岳精会詩吟大会

3月
20日 森 温繁さん 76歳(重)

お悔やみ申し上げます

ご意見募集
市、区などへのご意見、ご要望、ご質問

身近な話題
「わが家の自慢」何でも結構ですお寄せ下さい。

須崎協議会事務所